

団体名	特定非営利活動法人 六甲山の自然を学ぼう会		
団体の所在地	神戸市	代表者名	清水 孝之

1. 事業名	六甲山系グリーンベルト整備事業『森の世話人』活動		
2. 実施期間	平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日		
3. 主な実施場所	六甲山系保久良地区の NO. 47 地域		
4. 活動形態	・実践活動		
5. 活動内容・結果	<p><b>2010年5月15日（土）第2回「クリーンハイク&amp;森の世話人」活動</b>  43名（内子供6名）が参加、甲南山手からクリーンハイクを実施しながら魚屋道・尾根道経由で活動地にアクセス。2ヶ月前にきれいに刈り取った活動地南西部の休憩場所の広場は、早くもネザサが覆いつくしていた。このネザサを刈り取って広場を再びきれいにし、さらにすぐ北側の林内に密生していたネザサもきれいに刈り取りを実施。  また、活動地の植生調査とゲーム形式での森林学習も実施した。その結果、1月20日実施の予備植生調査で確認された樹木36種類以外に、新たに22種類の樹木の自生も確認され、少なくとも58種類の樹木の自生する、非常に豊かな植生を持った森林であることが確認された。</p> <p><b>2010年 9月 間伐処理の為のノコギリ購入</b>  <b>2011年 3月13日（日）第4回「クリーンハイク&amp;森の世話人」活動</b>  今回の実施の直前に、東日本では未曾有の大震災があったが、かつての被災地である神戸における、災害に強い森づくりのための森林保全活動ということで、2011年最初の活動は予定通り実施することにした。  今回は子供3名を含む30人で、いつものネザサ刈りと、ノコギリを使用した腐朽木等の伐採・間伐を実施した。</p>		
6. 成果・反響・反省点等	非常に豊かな植生を持った森林でのネザサ刈りと腐朽木等の伐採・間伐・枝打を実施することにより、林内の光環境を改善し、下層植生の欠乏を防ぐなど林分の健全性にプラスになったと思う。また、枝打ちによって林内の歩行、見通しをよくなり、林内作業の能率向上を図ることができた。 今回、間伐、枝打用のノコギリの使用によって、作業が飛躍的に向上した、また、活動地南西部の休憩場所の広場のネザサ刈を実施することにより、約 500 m <sup>2</sup> 程度のスペースができ、ネイチャーゲームなどのレクリエーションスペースとしての利用が可能となった。		
7. 成果物	なし		
8. 活動写真説明	   <p>折り込みノコギリによる 間伐作業</p> <p>参加者による ネザサ刈作業</p> <p>ネザサ刈後の広場での レクリエーション (ネイチャーゲーム)</p>		